

高知県商工団体連合会 NO.1162(57-14)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33

TEL088-832-4838 FAX088-832-3126

Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp

ホームページ <http://kosityoren.jp>

このニュースはホームページでもご覧になれます

# 高商連ニュース

## 秋の運動スタート

9月から11月まで秋の運動に取り組みます。次の点を中心に、班会や、集まって話し合うことをしながら、多くの会員の参加ですすみましょう。

①「消費税減税・インボイス廃止署名」、「インボイス制度廃止と、負担を軽減する『2割特例』『8割控除』の継続を求める請願書名」に取り組み

② 自主記帳・自主計算を推進する自主申告サポーター学校への参加を強めよう

③ 税制改正(基礎控除引き上げなど)の学習

④ インボイス特例(2割納税、8割控除)が来年9月に廃止・変更されることの影響、対応を学習

⑤ 定額減税不足額給付金への対応(給付漏れがないように)

⑥ 組織拡大の目標を持ち、取り組みの具体化を今から進める

・対象業者比10%の読者回復をめざす(純増39人必要)

・共済会員(民商会員本人の加入)比率74%をめざす(純増16人必要)

・各民商が年間(12月末)増勢をめざそう

■2025年 秋の運動(仲間増やし)

9/15現在	拡大					成果会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	0	0	0	0	0	0
香美郡	1	1	0	1	0	1
南国	0	0	1	0	0	0
高知	0	0	0	0	0	0
仁淀川	0	0	0	0	0	0
須崎	0	0	0	0	0	0
中村	3	0	0	0	0	1
計	4	1	1	1	0	2

成果会員：読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

## 第27回 こうち女性団体ネットワーク 学習と交流会



### 講演

(13:40~15:00)

## 介護から学んだ「足し算のススメ」 ～漫画『ヘルプマン』執筆から見える希望～



### 講師 くさかり樹さん

漫画家 高岡郡日高村(旧日下村)出身

代表作:「ケイリン野郎・周と和美のラブストーリー」小学館「Judy」

「ヘルプマン!」講談社「イブニング」

「ヘルプマン!!」朝日新聞出版「週刊朝日」

2013年「高知県文化環境功労者表彰」受賞

今年は、漫画家のくさかり樹さんを講師にお迎えし、介護をテーマにした講演会を行います。

介護は誰もが通る道です。誰もが安心して年を重ね、人生を豊かに生きることが望んでいます。

くさかり樹さんの漫画「ヘルプマン」執筆のきっかけは介護の現場で「自己否定」する人を楽にさせたいということだったそうです。「引き算ではなくて、足し算の介護」とは?取材から見えた希望とは何か?くさかさんのお話から、介護する側も介護される側もこれからの人生を生ききるヒントを見出しましょう。

どなたでも気軽にご参加ください。

日時:10月5日(日) 13:30~16:00 (開場13:00)

場所:こうち男女共同参画センター ソーレ 3階大会議室

駐車場が限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

参加費:無料(どなたでも参加できます)

主催 こうち女性団体ネットワーク 連絡先 酒井(070-5684-8415)

## 第23回中小商工業全国交流・研究集会(オンライン)が始まる

9月5日(金)の全体会を皮切りに17企画がスタート。7日(日)に、いの町債権管理課長が報告者として登場。

以下、「商工交流会ニュース」より  
分科会「あるべき社会保障を考える」

### 「衝撃でした」の感想が

「衝撃でした」の感想が届いた高知県の町・債権管理課長の報告。同町で行われている「生活再建型滞納整理」について、「重要なことは滞納者の生活状況の確な把握」「国民は健康で文化的な最低限度の生活を有する権利がある」と強調。「租税債権は滞納処分を停止して、3年の期間を待つ徴収権を消滅させる途を選択することが出来る」とやみくもに差押を行っても、それは世帯全体の生活破綻を招くだけであり、一時的に滞納が解消されたとしてもそれは真の意味での滞納整理とはならない」と言い切ります。「行政は、住民の生命・財産を守る責務を負っている」「行政の最低限の役割は、『声なき声に真摯に向き合うこと』『住民に寄り添い、常に伴走型であるべきこと』『住民の財産と生命を守る責務があること』の3点に集約される」と述べ、「滞納は悪」として厳しく取り立てる一部行政の姿勢をきっぱり否定しました。

【分科会報告原稿を連載します】

### 「債権管理課における生活再建型滞納整理の取組みについて」①

いの町債権管理課 課長 近藤 昭彦

#### 1 はじめに

本町は、高知県の中央部に位置しており、平成16年10月に旧伊野町、旧吾北村、旧本川村の3町村が合併して誕生いたしました。

面積は、約471km<sup>2</sup>で、人口は2万826人(令和6年12月31日現在)となっており、国勢調査による人口比率は約6・1パーセント減少する一方、65歳以上の高齢者はこの間約300人増加しており、将来的にも高齢者人口が全体に占める割合は益々上昇していくことが予想され、また昨今の年金の大幅な減少、物価高騰に伴い、今後生活困窮者対策は急務を要する課題であるといえます。

そこで本町では、生活困窮者の方をはじめ一人たりとも置き去りにしてはならない行政施策が重要であると考えています。